



馬の学校

馬の学校通信

2004. 12 vol.16



発行 馬の学校

事務局 〒560-0084 大阪府豊中市新千里南町 3-27-26 TEL/FAX : 06-6832-8455

E-mail : mine@dp.u-netsurf.ne.jp ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラム 活動報告



体験乗馬会 (9/18)



補助の仕方体験 ブラシがけで馬と仲良く もちろん馬小屋掃除も

ファミリープログラム (10/2, 11/6, 11/20)



「こんにちは」 「きもちいいなあ」(ポコ) 蹄の掃除にも挑戦



鞍を付けずに乗ってみました みんなで協力 「早く食べたいよ」(ベガ)

馬とのふれあいプログラム (10/17, 11/13)



きれいになったかな? 「かっこいいでしょう?」 みんなで馬小屋へ

こまキャンプ (10/30~31)



輪なげに挑戦! 「このあと、乗せてね」 協力してエサ作り

2004年活動報告



- 2月29日 体験乗馬会 (枚方)
- 3月20日 馬とのふれあいプログラム (枚方)
- 3月25~38日 ウマキャンプ (清里)
- 4月 2日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 4月24日 ファミリープログラム (和知)
- 5月 1日 ファミリープログラム (和知)
- 6月20日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 7月 3日 ファミリープログラム (和知)
- 7月26~29日 ウマキャンプ (清里)
- 8月21日 ファミリープログラム (枚方)
- 9月18日 体験乗馬会 (枚方)
- 10月 2日 ファミリープログラム (和知)
- 10月17日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 10月30~31日 こまキャンプ (和知)
- 11月 6日 ファミリープログラム (和知)
- 11月13日 馬とのふれあいプログラム (服部)
- 11月20日 ファミリープログラム (枚方)

* 「子どもゆめ基金」より助成いただいた

「こまのがっこう」CD-ROM 完成・配布

保護者へのアンケートから



馬とのふれあいプログラム

子どもにとってよかったことは・・・

- ・乗馬だけでなく、馬の手入れや掃除も体験できたこと。
- ・屋外で、自分より数倍も大きな動物に触れられたこと。
- ・流れに沿って一連の仕事をやりとげたという達成感を持つことができたのでは、と思う。
- ・人間の友達だけでなく、生き物(生命を持つもの)と友達になること。
- ・ずいぶん慣れ、一つ一つ落ち着いて過ごせたこと。





ウマコンテスト結果発表!



子どもの部

優秀賞 大阪府 徳野 愛大さん(12歳)

準優秀賞 三重県 梅崎 秋香さん(11歳)

ユニーク賞 三重県 梅崎 思響さん(3歳)

大人の部

優秀賞 三重県 中村 美和子さん



←徳野 愛大さんの作品
その他の作品はHPでご覧下さい。



おすすめの本



『子馬(こうま)とカバ』

ヨゼフ・ウィルコン 文と絵 / いずみちほこ 訳
セーラー出版



修行の旅に出た子馬は、河にいる馬のカバに会いました。同じ馬でも、子馬は走りまわり、カバは水の中をすいすいと泳ぎます。本当の馬になるために、子馬とカバは……。

おうまの教室

馬の気持ちを知る方法



馬は人間のようにことばは話しませんが、表情や動作でいろいろなことを伝えています。そのうちのいくつかを紹介します。

表情や耳でわかる馬の気持ち



怒っている

「これ以上近づかないで」「何が起こるのかなあ」



不安



ねむい

「ねむいなあ」



～がほしい

「私にもにんじんちょうだい!」



馬同士のあいさつ

「こんにちは」



編集後記

あっという間に2004年もあとわずかとなりました。今年ののべ参加者数は77名、お手伝いいただいたボランティアのみなさんは20名以上になりました。皆さまのおかげで、すべてのプログラムを全て無事に終えることができましたことに感謝いたします。今年は「セルフわらしべ」でのプログラムをスタートさせ、プログラムの種類や数も昨年度に比べて増えました。それぞれの場所によって持つ「良さ」は違いますが、それらを最大限に生かしたプログラムを作り上げていきたいと思っています。

さて、来年度に向けては、さらに新たな展開を考えています。より多くの人たちに、馬とのかかわりが持つすばらしさを感じてもらうために、こちらから馬とともに出かけていこう!と考えています。詳細は次号以降でお知らせしますので、楽しみにお待ち下さい。

(峯崎 友香理)

